

# そば伝来の道500kmを1カ月かけて踏破 「皿そば道中」到着式



▲大勢の人が出迎える中、ゴールの大手前広場に到着する皿そば道中一行

300年前、信州・上田から出石に伝わったそば伝来の道を歩く「皿そば道中」一行が、6月17日、出石に到着しました。これは、出石そば伝来300年祭の一環として出石町商工会青年部が中心になって企画したもので、約500kmの道のりを延べ143人が35日間かけて交代で歩きました。最終日は、市民約100人が加わり、残り約5kmの道のりを歩いて旧京街道から城下へ。最後、大名行列槍振りの先導により出石総合支所前の大手前広場に一行が到着すると、出迎えに来た人たちや観光客から声援や拍手が盛んに送られていました。

また、一行のゴールに合わせ、17・18日の2日間は、「全国そばまつり」が盛大に開催されました。上田市の「信州そば」をはじめ、「出雲そば」「越前そば」など全国の有名そば処が一堂に集まり、そばの味を食べ比べようと訪れた人たちで終日にぎわっていました。

青年部の皆さんには、出石のまちやそばの宣伝をしながらとても長い道のりを踏破してもらいました。参加者の顔を見ると、さまざまなお人や文化にふれ、一周りも、二周りも大きくなって帰って来たように感じます。今後、ぜひ、この経験を出石のまちづくりに活かしてほしいと思います。



出石そば伝来300年祭  
実行委員会 会長  
(但馬國出石観光協合理事長)  
岡本健一郎さん

経験をまちづくりに活かして

地域の皆さんの温かいご支援によって無事成功することができました。道中では、出石のピーアールを積極的に行ってきましたが、出石を知らない人が結構いると感じました。私たち青年部は、今後、「出石に来てよかった」と皆さんに思ってもらえるまちづくり、人づくりに取り組んでいきます。



出石そば伝来300年祭  
実行委員会 事業副部長  
(出石町商工会青年部長)  
西浦克治さん

皆さんの支援に感謝

## 皿そば道中ルート図



▲出発の際、長野県上田市長から預かった親書と玄そば3合を岡本実行委員会長に手渡す西浦商工会青年部長



▲皿そば道中一行を先導し、大手前広場に進む大名行列槍振り



▲全国そばまつりでそばの食べ比べをする人たち。どの店も長蛇の列ができていた



有名そば処が一堂に集合

## 全国そばまつりも 盛大に開催

そばまつりがあることを知って、友達を誘って5人で鳥取からやって来ました。屋台村に出店された全国のそばをすべて食べ尽くしましたが、それぞれ特徴があっておいしかったです。また、おいしいそばを食べに来ます。



鳥取市から友達と一緒に  
そばまつりに訪れた  
**霜田克夫さん**  
(右から1番目)

そばまつりを自当てに来ました

ふるさとの歴史に思いを寄せながら皿そば道中を計画し、それを行動に移されたことに敬意を表します。300年という悠久の時を越えて、再びそばが二つのまちを取り持つようとしています。豊岡市とご縁が、未来永劫に続いていくことを願います。



皿そば道中に到着式に  
臨席された  
長野県上田市長  
もたい  
母袋創一さん

豊岡との縁が続くことを願う